

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

タイトル	気候変動影響の（早期）警報のためのホットスポット分析 Hotspots analysis for climate change impact [early] warning
主催	Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO)
日時	2004年12月6日(月)13時～15時
主要討論者	<ul style="list-style-type: none"> Michael Glantz (Environment and Social Impact Group, National Center for Atmospheric Research, Boulder, CO, USA) Igor Zonn (Department of Engineering, Scientific Production Center for Water Economy, Reclamation and Ecology, Moscow, Russia) René Gommès (Environment and Natural Resources Services, UN Food and Agriculture Organization, Rome, Italy)
傍聴者	40人弱（政府関係者など）
目的	<ul style="list-style-type: none"> 過去・現在・未来からの観点から見た環境と気候に関連したホットスポットについての概要を説明する。 カスピ海流域のホットスポットの現状と変動、さらにその原因についてどのような過程を経ているのかの概要を説明する。 HIV/AIDS と気候変動問題に関するホットスポット分析について紹介する。
発表の概要	<ul style="list-style-type: none"> ホットスポットの定義。 気候とホットスポットの関連についての概要の解説。 早期警報・早期応答システム（Early Warning Rapid Response System; EWRRP）の重要性について。 カスピ海流域の基本的情報と進行中の環境問題の情報を提供し、その原因についての解説。 HIV/AIDS と気候変動の関連性についての報告。
主要な論点	<p><Michael Glantz></p> <ul style="list-style-type: none"> ホットスポット（hotspot）とは、人間と環境との相互作用が生態系や生態系に依存している人間の活動が、持続的でなくなると考えられる場所や活動のことと定義する。 早期警報システムは個人・団体・政府などがリスクを避けあるいは軽減し、また事前に効果的な準備をするために行動を取ることができるように、タイムリーにかつ効果的な情報を提供することのものである。 早期警報システムは、オペレーションの継続性、タイムリーな警報、透明性、他の警報システムとの統合、人間のキャパシティの必要性、柔軟性などの特徴を持っている。 <p><Igor Zonn></p> <ul style="list-style-type: none"> カスピ海流域で深刻な越境環境問題が生じているが、その原因は主に外来種の進入とガス・石油採掘による汚染のためである。 ホットスポットとなる前に問題地域を同定することが必要である。 <p><René Gommès></p> <ul style="list-style-type: none"> HIV/AIDS は人口密度が高く、生活条件の悪い地域でより早く拡大しており、

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

	<p>また高い移住率の地域で早く拡大している。これら全ては気候変動によってさらに悪化する。</p> <p><Q&A></p> <ul style="list-style-type: none">・ 他の社会的・経済的要因と比較して、気候変動が HIV/AIDS の広がりへの寄与にどのくらい寄与しているのか？ <p>HIV/AIDS は限られた天然資源へのアクセスの結果によって相互に関連のある変数によって変化するが、これらの変数の多くは気候変動に大きく依存している。</p>
資料	なし

文責：井上 智尊